

20. 介護保険制度対象外の高齢者に、 掃除、見守り、通院介助等の援助

グループ名 NPO 法人 助けあいグループりぼん
代表者 山田 フサ

①活動の目的

介護保険の枠を超えて、在宅生活の援助を行うことで、安心して住み続けられる助けあいのまち・東山を実現していくことを目的に設立。中心の事業は、高齢者の方々にかかわる生活援助活動である。現在の介護保険制度のもとでは、利用居室以外の掃除や草むしり、病院内の介助、家具移動などができないとされているため、制度を受けられない高齢者について、介護事業所や本人、家族等からの依頼に応え、掃除、食事付き添い、見守り、散歩同行、通院介助、庭木剪定等の援助を行っている。2012年度は、利用者のべ639名（月平均53名）、2706回（月平均226回）となっている。新規利用者は、45名となっている。

この間、独居や認知症の方、家族が仕事に行く間一人という昼間独居の方が増えており、要望も多様化してきている。夕食のセッティング、くすり、失禁の確認や、夕食後から就寝までの見守りや、高齢のため手に負えない庭木の剪定依頼も増えてきている。

②活動概要

介護保険制度対象外の高齢者に、掃除、見守り、通院介助等の援助を行っている有償ボランティア組織で、登録スタッフ35名が活動をしている。登録スタッフ35名の活動をコーディネートするため、毎日午前中無償ボランティアを3～4名配置している。毎日、平均10人のスタッフが活動しており、その間起きる事故（例；利用者宅が鍵がかかっている）などに対応することもある。主な活動内容は、

- ①利用者からの依頼を受け、配置スタッフを決め、作業日程を確定する。
- ②スタッフからの活動報告を受け、活動費の授受を行う。
- ③報告をもとに申し送りを徹底する。

この無償ボランティアに対し、交通費等実費補助として1回2時間300円出すようにしているが、貴団体の助成金を受けて、400円に増やすことができるようになった。

③決算報告書

収入	大同生命厚生事業団助成金	100,000
支出	当番スタッフへの交通費補助 延べ 807回 807*400円	322,800
	合 計	322,800



(写真左)
壁を伝うツタの剪定作業中のスタッフ



(写真左)
年1回開催する研修会であいさつ
する山田理事長



(写真左) 外出のお手伝いをするスタッフ



(写真下)
車椅子介助の研修を行うスタッフ